

# TKS report vol.18

TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY

## 第110期中間報告書

2015年3月1日～2015年8月31日

株式会社 **東京衡機**  
**TOKYO KOKI CO. LTD.**

【東証2部上場（証券コード7719）】

## ■ トップメッセージ/企業理念



代表取締役会長兼社長  
石川 隆一

平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第110期上半期（2015年3月1日～8月31日）のわが国経済は、企業収益の回復基調や所得雇用環境の改善が続いている中、企業も設備投資に着手する動きが顕在化しつつあり、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。また、消費税率引上げに伴う消費の落ち込みも一巡し消費マインドは緩やかに持ち直しており、当面は円安、原油安の影響を受け物価の騰勢は鈍化傾向にあります。一方で、中国の景気減速が懸念される中で発生した本年8月の上海株式市場の暴落によるとされる世界同時株安と為替変動の余波は未だ収まらず、金融情勢は不安定な状況にあると見られます。

このような状況の下、当社グループは、試験機事業では、平成27年9月1日付の会社分割によるグループの試験機事業統合に向けてより一層のシナジー効果を追求するとともに、国内代理店営業活動の支援強化や提携先のドイツZwick社との新たな関係強化を進めま

した。エンジニアリング事業では、主力製品であるハイパーロードナットの収益構造改善に向けて生産体制の抜本的見直しに取り組むとともに、公共工事関連施設や電力会社向けの販売体制の強化を図りました。海外事業では、中国子会社の無錫三和塑料製品有限公司を中心に成長分野であるオフィス家具部品や自動車関連部品、家電関連部品の製造販売に取り組むとともに、マネジメント体制の再構築や生産体制の整備を進めました。

当上半期の業績につきましては、当社試験機事業での第1四半期における売上の落ち込みやエンジニアリング事業の取引先の工期遅れ、中国市場の停滞が懸念される中で海外事業の体制整備の遅れ等により期初予想を大きく下回る結果となりました。

今後につきましては、上半期の遅れを取り戻し、安定的な黒字基調を確立すべく、グループ一丸となって業績の改善・向上に取り組む所存であります。

皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## contents

トップメッセージ/企業理念	— 1
決算ハイライト	— 2
事業内容	— 3
事業の概況	— 4
第2四半期(累計)連結財務諸表(概要)	— 5
トピックス	— 7
特集 中国子会社のオフィス家具部品製造	— 9
株式情報/会社概要/役員等	— 10

**TKS**  
TOKYO KOKI

**TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY**  
「技術と知識で豊かな社会の実現に貢献する」

技術への挑戦と  
顧客からの信頼

常にお客様の立場に立ち、  
“価値ある商品”を提供します。

人間性の尊重

一人ひとりの“能力・意欲・創意を  
尊重する”とともに、やさしさと  
温かみのある人間集団を目指します。

地域社会への貢献

日々の誠実な活動を通じ、  
地域からも“信頼される  
企業市民”であり続けます。

## 決算ハイライト

### 第110期第2四半期累計期間 (2015年3月1日～2015年8月31日)

	連結業績	個別業績 (当社単体)
売上高	2,340百万円 (前年同期比 △18.2%)	1,088百万円 (前年同期比 △5.3%)
営業利益	△56百万円 (前年同期比 ー%)	△64百万円 (前年同期比 ー%)
経常利益	△52百万円 (前年同期比 ー%)	△68百万円 (前年同期比 ー%)
四半期純利益	173百万円 (前年同期比 ー%)	△86百万円 (前年同期比 ー%)
1株当たり四半期純利益	2円40銭	△1円21銭

### 業績のポイント

- ①試験機事業は、受注環境に改善の傾向が見られるも、売上高は第1四半期の落込みが大きく、第2四半期連結累計期間は前年同期を若干下回る
- ②エンジニアリング事業は、ゆるみ止めナットの生産体制の抜本的見直しに着手したものの、未だ充分な成果は出ず、事業全体としては低調に推移
- ③海外事業は、競争環境の変化等による第1四半期の落込みを回復すべく、新規取引先の開拓や生産体制の見直しを実施

※△は損失を示しております。

当第2四半期連結累計期間では、試験機事業では、企業の設備投資の増大傾向を受けて受注環境に改善の傾向がみられる中、海外向けの大型受注もあり、当第2四半期連結累計期間における受注は前年同期を上回りました。売上高では当第2四半期連結会計期間は前年同期を上回りましたが、第1四半期連結会計期間の落ち込みを吸収するには至らず、当第2四半期連結累計期間は前年同期を若干下回る結果となりました。

エンジニアリング事業のうち締結具事業では、主力製品であるハイパーロードナットおよびゆるみ止めスプリングの高速道路等の公共工事関連施設および電力会社に向けた販売体制の強化を図りました。また、収益構造改善に向けた生産体制の抜本的見直しとして、国内での製造委託体制を構築するとともに、中国での製造委託体制の整備を進めました。その結果、当第2四半期連結累計期間では、納入先の工期の遅れなどが影響し売上は伸び悩みましたが、業績の落ち込んだ前年同期に比べ損益は上回りました。エンジニアリング事業のうち民生事業では、波形手すりや健康関連商品について、成長性、収益性等を勘案した結果、縮小・撤退していくこととし、住宅設備関連サービスについて、受注・売上確保の障壁が高いことから、取組みの見直しを行いました。受注・売上とも前年同期を大きく下回りました。その結果、エンジニアリング事業全体では、売上高は極めて低調に推移し、損益ともども前年同期を下回りました。

海外事業では、中国子会社の無錫三和塑料製品有限公司を中心にオフィス家具部品や自動車関連部品、家電関連部品等となるプラスチック加工製品を製造し、日本や欧米向けに販売しておりますが、第1四半期連結会計期間において競争環境の変化、中国市場の低滞懸念等により受注・売上が大きく落ち込んだことから、新規取引先の開拓や生産体制の見直し、業務執行体制の刷新等を行った結果、当第2四半期連結会計期間では受注、売上、損益ともに回復基調に戻りましたが、当第2四半期連結累計期間の業績は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の連結業績および個別業績は上記のとおりとなりました。

## ■ 業績の見通し (2015年10月15日の業績予想公表時点)

### 第110期 (2015年3月1日～2016年2月29日)

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連結業績	通期	5,283百万円	20百万円	10百万円	207百万円
個別業績 (当社単体)	通期	1,629百万円	公表値なし	△38百万円	△63百万円

※△は損失を示しております。

## 事業内容

1923年創業の伝統と高い技術力を誇る試験機事業をはじめとして、画期的なアイデアで社会に安心と安全を提供するエンジニアリング事業など、技術と知識で豊かな社会の実現に貢献すべく様々な事業を展開しています。

### 試験機事業

試験機・計測機器の開発・設計・生産からメンテナンス・校正・受託試験サービスまで高度な技術力によりワンストップソリューションを提供しており、産業界や各種研究機関から広くご愛顧をいただいております。



試験機事業

海外事業

**TKS**  
TOKYO KOKI

Technology and Knowledge Enrich Society

エンジニアリング事業

エンジニアリング事業

### 海外事業

中国子会社の樹脂成型技術を活かし、オフィス家具部品や自動車関連部品、家電関連部品等のプラスチック成型品の製造販売を行っています。



画期的なアイデアと独自の技術で開発したゆるみ止めナットとナットの脱落を防止するゆるみ止めスプリングの製造販売（締結具事業）を中心に、一般消費者向けの住宅関連サービス等（民生事業）を行っています。



アジア地域における拠点

MONGOLIA

CHINA

NORTH KOREA

SOUTH KOREA

JAPAN

無錫三和塑料製品有限公司

東京衡機試験機豊橋工場

東京衡機試験機相模工場

東京衡機試験機サービス

TKS 東京衡機

## 事業拠点



相模工場

株式会社東京衡機試験機

本店

〒101-0025  
東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地  
第7東ビル6階



豊橋工場

### 国内子会社

株式会社東京衡機試験機

■東京衡機事業本部（相模工場）・営業本部関東支店

〒252-0151  
神奈川県相模原市緑区三井315番地

■東京試験機事業本部（豊橋工場）・営業本部中部支店

〒440-0071  
愛知県豊橋市北島町字北島202番地

■営業本部東京支店

〒101-0032  
東京都千代田区岩本町三丁目4番5号 第1東ビル4階

■営業本部大阪支店

〒532-0033  
大阪府淀川区宮原四丁目1番45号 新大阪八千代ビル2階

株式会社東京衡機試験機サービス

■本社

〒214-0014  
神奈川県川崎市多摩区登戸639番地5

株式会社テークステレコム ※事業休止中

### 海外子会社

無錫三和塑料製品有限公司（中国江蘇省無錫市）

無錫特可思電器製造有限公司（同上）

瀋陽特可思木芸製品有限公司 ※事業休止中

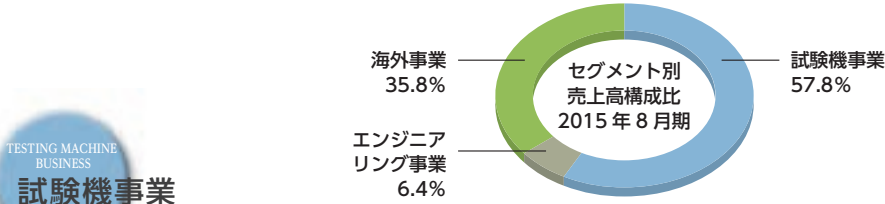
特可思（北京）進出口有限公司 ※清算手続き中

## 事業の概況

当社グループは、中長期的な経営戦略として、①試験機事業のブランド力の強化、②既存事業の深耕化と関連事業の強化、③海外市場への展開を掲げ、以下のとおり事業を展開しております。

1 試験機事業の  
ブランド力の強化2 既存事業の深耕化と  
関連事業の強化

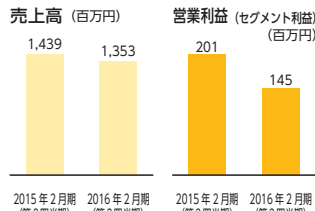
## 3 海外市場への展開

TESTING MACHINE  
BUSINESS

## 試験機事業

## Testing Machine Business

売上高 1,353百万円

営業利益  
(セグメント利益) 145百万円

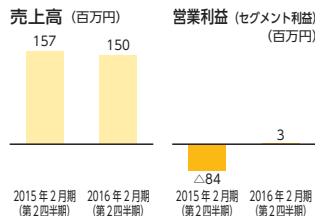
当上半期は、企業の設備投資の増大傾向を受けて受注環境に改善の傾向がみられる中、海外向けの大型受注もあり、当上半期における受注は前年同期を上回りました。売上高では当第2四半期連結会計期間は前年同期を上回りましたが、第1四半期連結会計期間の落ち込みを吸収するには至らず、当上半期は前年同期を若干下回る結果となりました。なお、子会社である㈱東京試験機(平成27年9月1日付で㈱東京衡機試験機に商号変更)は万能試験機等の標準的製品を主体に受注高、売上高とも好調でありました。

Engineering  
BUSINESS

## エンジニアリング事業

## Engineering Business

売上高 150百万円

営業利益  
(セグメント利益) 3百万円

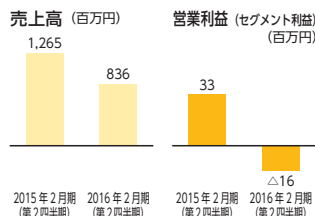
当上半期は、締結具事業では、主力製品であるハイパーロードナットおよびゆるみ止めスプリングの高速度道路等の公共工事関連施設や電力会社向け販売体制の強化を図り、国内での製造委託体制を構築しました。また、民生事業では、波形手すりや健康関連商品についてその収益面の低さから縮小・撤退し、また、住宅関連事業では事業の進捗が遅れており、受注の不安定性から取組みの見直しを行いました。エンジニアリング事業全体では、売上高は前年同期を若干下回りましたが、損益は前年同期を上回り、黒字化を実現いたしました。

Overseas  
BUSINESS

## 海外事業

## Overseas Business

売上高 836百万円

営業利益  
(セグメント利益) △16百万円

当上半期は、中国子会社の無錫三和塑料製品有限公司を中心にオフィス家具部品や自動車関連部品、家電関連部品等のプラスチック加工製品を主力製品として製造し、日本や欧米向けに販売しましたが、第1四半期連結会計期間において競争環境の変化、中国経済の減速の影響等により受注・売上が大きく落ち込んだことから、取引先、生産体制、執行体制の見直しを行った結果、当第2四半期連結会計期間では受注、売上、損益ともに回復基調に戻ったものの、当上半期の業績は前年同期を下回りました。



※△は損失を示しております。

第2四半期（累計）連結財務諸表（概要）（単位：百万円、単位未満切捨て）

四半期連結貸借対照表

科目	前第2四半期末 2014年8月31日現在	当第2四半期末 2015年8月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	3,465	3,151
現金及び預金 <b>1</b>	1,098	785
受取手形及び売掛金	1,420	1,370
たな卸資産	780	845
繰延税金資産	10	9
その他	184	168
貸倒引当金	△ 28	△ 29
固定資産	1,676	1,440
有形固定資産 <b>2</b>	1,296	1,200
無形固定資産	143	128
繰延税金資産	29	23
投資その他	578	542
貸倒引当金	△ 370	△ 454
<b>資産合計</b>	<b>5,142</b>	<b>4,591</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	2,119	1,851
固定負債	1,460	1,042
<b>負債合計 <b>3</b></b>	<b>3,579</b>	<b>2,894</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本 <b>4</b>	1,019	1,035
その他の包括利益累計額 <b>5</b>	543	662
<b>純資産合計</b>	<b>1,563</b>	<b>1,697</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,142</b>	<b>4,591</b>

**Point1** 現金及び預金

長期借入等の資金調達を行っておりますが、主に㈱KHIの特別清算に伴う金融機関への弁済、保証債務の履行等による資金減少を主因に前第2四半期末に比べ3億13百万円減少しております。

**Point2** 有形固定資産

主に連結子会社㈱KHIの解散・清算に伴う処理により、前第2四半期末に比べ96百万円減少しております。

**Point3** 負債合計

主に長・短期借入金の弁済により、前第2四半期末に比べ6億85百万円減少しております。

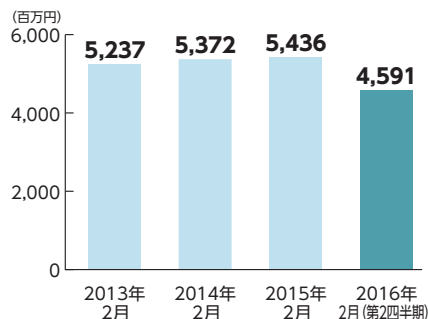
**Point4** 株主資本

当第2四半期は1億73百万円の純利益を計上しましたが、前下半期に㈱KHIの清算に伴う特別損失等があったことから、前第2四半期末に比べ16百万円の増加にとどまっております。

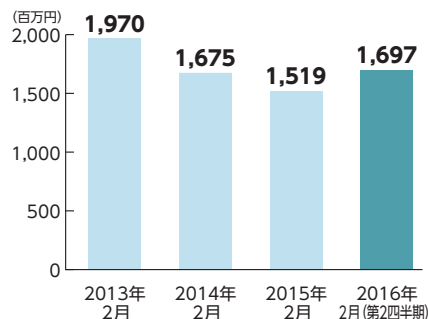
**Point5** その他の包括利益累計額

主に人民元に係る為替換算調整勘定の増加により、前第2四半期末に比べ1億19百万円増加しております。

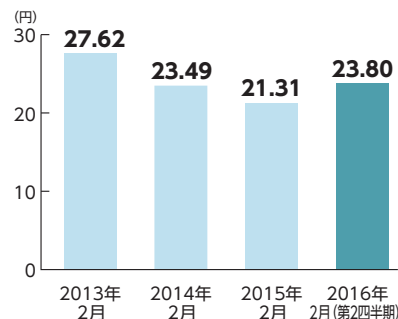
総資産



純資産



1株当たり純資産



## 四半期連結損益計算書

科目	前第2四半期 (累計)	当第2四半期 (累計)
	2014年3月1日～2014年8月31日	2015年3月1日～2015年8月31日
売上高 <b>6</b>	2,861	2,340
売上原価	2,166	1,758
売上総利益 <b>7</b>	695	581
販売費及び一般管理費	684	637
営業利益又は営業損失 (△)	11	△ 56
営業外収益	26	28
営業外費用	40	24
経常損失 (△)	△ 2	△ 52
特別利益 <b>8</b>	—	260
特別損失	33	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△ 35	206
法人税等	40	32
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△ 76	173
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△ 76	173

### Point6 売上高

売上高は前第2四半期に比べ5億21百万円減少しております。試験機事業は86百万円、エンジニアリング事業は7百万円、海外事業は4億28百万円とすべてのセグメントで減少となっております。なお、海外事業の売上への減少は連結子会社であった上海参和商事有限公司を出資持分の譲渡により連結対象から除外したことも影響しております。

### Point7 売上総利益

売上総利益は前第2四半期に比べ1億14百万円減少しており、主に海外事業の売上高の大幅な減少によるものです。売上総利益率は0.5ポイント改善し、24.8%となっております。

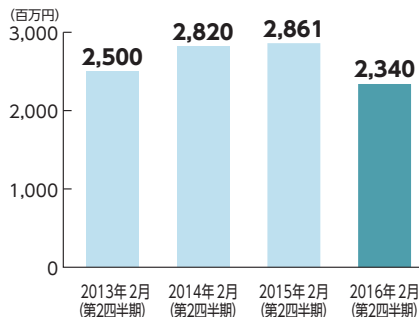
## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前第2四半期 (累計)	当第2四半期 (累計)
	2014年3月1日～2014年8月31日	2015年3月1日～2015年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	169	△ 43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 13	103
財務活動によるキャッシュ・フロー	112	△ 140
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 12	1
現金及び現金同等物の増加額又は減少額	256	△ 78
現金及び現金同等物の期首残高	787	820
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,044	741

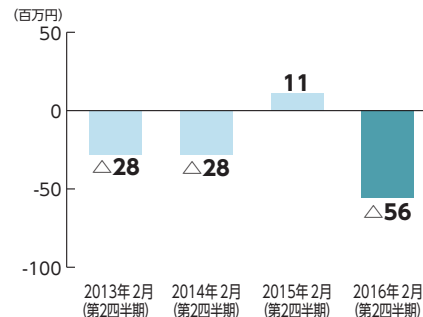
### Point8 特別利益

(株)KHIの特別清算に伴い債務免除益を特別利益に計上したものであります。

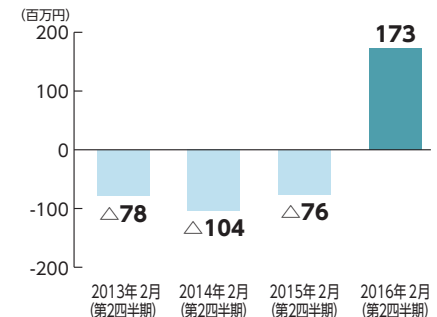
## 売上高



## 営業利益



## 四半期純利益



※△は損失を示しております。

## トピックス

### 「TEST2015－第13回総合試験機器展」への出展

当社は、2015年9月16日（水）から18日（金）までの3日間、東京ビッグサイトにて開催された日本試験機工業会主催の「TEST2015－第13回総合試験機器展」に平面曲げ疲労試験機PBF-30Xや新製品のPBF-5（恒温槽を標準装備）、亀裂進展試験を行うことができるAdvanced-PBF、提携先のZwick社のねじ式材料試験機等を出展いたしました。本展示会は、未来につながる試験と計測「見せる信頼－確かな品質」をテーマとし、「材料試験、環境試験と計測、評価に関する国内唯一の総合展」として安全・安心な技術振興の貢献に向けて新しい情報を発信する2年に1度のビッグイベントですが、今回は「自動車技術ゾーン」が新設され、自動車業界におけるビジネスマッチングに力が注がれました。当社ブースには、お客様や商社の方をはじめ多くのご来場者がお越しになり、貴重な製品PRの場となりました。

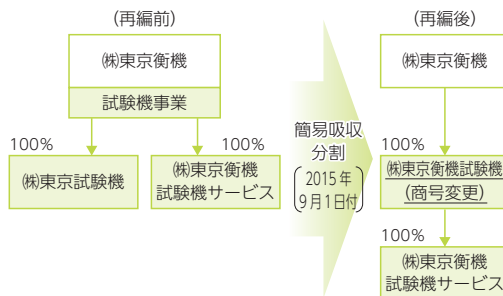


### 会社分割によるグループの試験機事業統合

当社は、1923年（大正12年）に衡器と試験機の専門メーカーとして創業し、1936年（昭和11年）に株式会社に改組、以来試験機業界の先進企業として我が国の産業の発展とともに歩み、2005年（平成17年）には材料試験機分野に強みを有する1933年（昭和8年）創業の試験機メーカー、(株)東京試験機を子会社としてグループに迎え、2008年（平成20年）には試験機の修理・メンテナンスサービスを行う(株)東京衡機試験機サービス（当時の商号はビルコンエンジニアリング(株)）を子会社化いたしました。今般、当社グループの試験機事業のさらなる発展とより効率的な事業運営・事業基盤の強化を実現するために、当社の試験機事業および(株)東京衡機試験機サービスの全株式を会社分割

（簡易吸収分割）の方法により2015年（平成27年）9月1日付で(株)東京試験機に承継させ、同社の商号を(株)東京衡機試験機に変更いたしました。これにより、当社グループの試験機事業は営業部門、開発・設計部門、生産部門、生産管理・購買部門が統合され、より効率的な経営を行うことが可能となりましたので、今後、さらなる事業の拡大を目指すべく、新規マーケットの開拓、中国等の海外マーケットへの進出、代理店網の強化等のチャネル政策の整理・統合を促進していきます。

【グループ試験機事業再編図】





## 事業セグメントの変更について

当社グループの事業活動の実態により即した適切な経営情報の開示を行うために、中国を中心とした海外におけるグループの事業実績を明確に区分するとともに、当社の組織変更により設けられた営業開発部門の管轄と合うように、平成28年2月期第1四半期連結会計期間より、以下のとおり事業セグメントを変更いたしました。

### (変更の内容)

従前「住生活事業」の中に含まれていた中国子会社における事業を「海外事業」として区分し、日本国内における「住生活事業」と従来の「ゆるみ止めナット事業」を合わせて「エンジニアリング事業」として統合したものであり、新たな事業の追加等はありません。

事業セグメントの変更の概要は以下のとおりです。

### 【旧セグメント】

セグメント名称	主な事業内容等
試験機事業	試験・計測機器および関連機器の製造・販売ならびに修理・メンテナンス、校正、受託試験その他の付帯サービス
住生活事業	射出成型金型、プラスチック射出成型品、木工製品等の製造・輸入・販売、健康関連商品および省エネ機器等の販売
ゆるみ止めナット事業	ゆるみ止めナット、建築資材の製造・販売



### 【新セグメント】

セグメント名称	主な事業内容等
試験機事業	試験・計測機器および関連機器の製造・販売ならびに修理・メンテナンス、校正、受託試験その他の付帯サービス
エンジニアリング事業	締結具事業（ゆるみ止めナット、ゆるみ止めスプリング、特殊ばね、ボルトその他の締結部材の製造・販売、各種サービス）、民生事業（住宅関連設備その他一般消費者向け商品の販売、各種サービス）
海外事業	海外子会社におけるオフィス家具部品、自動車関連部品、日常生活品その他の樹脂成型品および家電製品等の製造・販売・輸出入ならびに海外における商品の販売および各種サービス

TKS  
report vol.18



—特集—

中国子会社のオフィス家具部品製造

当社グループの海外事業の中核会社である無錫三和塑料製品有限公司（江蘇省無錫市）は、高級オフィスチェアの樹脂成型部品の製造および完成品までの組立を中心に、自動車部品の樹脂成型や電気自動車部品の開発、家電OEM生産など業容を拡大してきました。

近年では、日本の事務用品・オフィス家具のリーディングカンパニーであるイトーキ社、米国に本拠を置き世界47ヶ国に生産拠点を有する世界的オフィス家具メーカーのHaworth社等へオフィスチェア製品の供給を行っています。

オフィス家具部品の製造においては、繰り返しの使用に耐えるための座面や背もたれ、台座部分の強度や快適な座り心地など、確かな品質が求められます。

無錫三和塑料製品有限公司では樹脂成型に加え、背もたれ部分の樹脂超音波溶接専用装置の自社開発やアルミ研磨による光沢仕上げ、完成品までの組立など、製品の付加価値向上を積極的に推し進めてきました。

現在では、オフィスチェアや各種チェアの構造設計およびオリジナル椅子製品の開発を進めるべく準備を進めており、今後もさらなる成長を目指して積極的に人材強化等の施策に取り組んでまいります。



オフィスチェア



組立ライン



射出成形設備

## 株式情報 (2015年8月31日現在)

### ● 株式の概況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数*	71,337,916株
株主数	3,532名

※上記の発行済株式の総数には、自己株式25,325株を含みます。

### ● 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社アジアゲートホールディングス	27,379千株	38.39%
オカザキファンド投資事業 有限責任組合	2,000千株	2.80%
何 積橋	1,686千株	2.36%
岡崎 由雄	1,050千株	1.47%
早坂 天	1,029千株	1.44%
前田 喜美子	823千株	1.15%
日本証券金融株式会社	746千株	1.04%
田崎 功	642千株	0.90%
仮屋 浩一	460千株	0.64%
中東 文和	357千株	0.50%

※持株比率の算定においては、発行済株式より自己株式(25,325株)を控除しております。

### ● 株式の分布状況



● 事業法人等	30,284千株	42.45%
● 個人・その他	38,224千株	53.58%
● 金融機関	978千株	1.37%
● 証券会社	1,437千株	2.02%
● 外国法人等	388千株	0.54%
● 自己名義株式	25千株	0.04%
合計	71,337千株	100%



● 1単元未満	194名	5.49%
● 1単元以上	2,016名	57.08%
● 5単元以上	480名	13.59%
● 10単元以上	676名	19.14%
● 50単元以上	88名	2.49%
● 100単元以上	78名	2.21%
合計	3,532名	100%

## 会社概要 (2015年8月31日現在)

商 号	株式会社東京衡機
本店所在地	東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地
創 立	1923年(大正12年)3月20日
資 本 金	27億1,355万2,013円
従 業 員 数	87名(連結388名)
事 業 内 容	試験・計測機器および関連機器の製造・販売ならびに修理・メンテナンス、校正、受託試験その他の付帯サービス ゆるみ止めナット、ゆるみ止めスプリング、特殊ばね、ボルトその他の締結部材の製造・販売、各種サービス 住宅関連設備その他一般消費者向け商品の販売、各種サービス

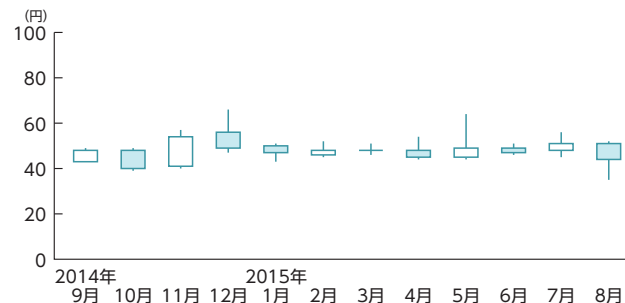
## 役員等 (2015年8月31日現在)

代表取締役会長兼社長	石川 隆一
常務取締役(兼 専務執行役員 試験機技術部門担当)	佐藤 良則
常務取締役(兼 専務執行役員 グループマネジメント担当)	勝部 康男
取締役(兼 常務執行役員 試験機営業部門担当)	川松 満
取締役(兼 常務執行役員 営業開発部門担当)	平田 真一郎
取締役(社外取締役)	竹中 洋
取締役(社外取締役)	花島 浩
常勤監査役	遠藤 栄一
監査役(社外監査役)	藤田 泰三
監査役(社外監査役)	田野 春風

会計監査人

新日本有限責任監査法人

### ● 株価の推移



## 株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
期末配当金受領株主 確定日	2月末日
定時株主総会	毎年5月開催
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同上連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同上連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第二部
公告の方法	電子公告 (掲載 URL <a href="http://www.tksnet.co.jp">http://www.tksnet.co.jp</a> ) (ただし、電子公告によることができない事故その他の止むを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取・買増請求その他の各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にお問い合わせください。同行全国各支店でもお取次ぎいたします。

東京衡機ホームページ  
<http://www.tksnet.co.jp/>

IR情報はこちらからご覧いただけます。



### ロゴマークについて

“技術力” “獨創性” “人” “伝統” 全てをリンクさせ、一丸となって新しい時代へ向かう東京衡機の姿を表現するため、「青」「赤」「緑」「紫」を「光のイメージ」に展開しています。

#### 青：東京衡機の技術力

真っ青な海や空を眺めていると不思議と心が安らぎ、ポジティブな気持ちになります。そのことから「青」は冷静、自立、希望を象徴し、また知性、誠実のイメージをもつ色といわれています。次代のシーズを冷静に判断し、お客様のご要望に的確に応えるため、あらゆる知性を集約した、東京衡機の“技術力”を「青」で表現しています。

#### 赤：東京衡機の獨創性

万物に恵みを与えてくれる太陽の色「赤」は、外へと向かうパワーを感じさせます。

情熱、エネルギー、ダイナミック、活動的なイメージがあり、幸運を招く色としても知られています。新しい次代へ挑むエネルギーとなる、東京衡機の“獨創性”を「赤」で表現しています。

#### 緑：東京衡機の人

自然の美しさや木々の芽吹きを連想させる「緑」は、すがすがしさ、新鮮さ、新しい可能性、生命力を象徴する色です。いつまでも新鮮で、新しい可能性に満ち、時代を乗り越える生命力を備えた東京衡機の財産“人”を「緑」で表現しています。

#### 紫：東京衡機の伝統

染料の入手が困難なこと、染め出す技術が高度なことより、古来から「紫」は高貴な色として崇められ、また伝統、古典のイメージをもつ色です。1923年創業という長い歴史を誇る、東京衡機の“伝統”を「紫」で表現しています。

株式会社 **東京衡機**  
**TOKYO KOKI CO. LTD.**

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番地  
TEL 03-5207-6760 FAX 03-5298-1802



環境に配慮した植物油インキを使用しております